

2021年4月9日

日本ユニシス

四国銀行が営業店業務支援システム「SmileBranch」を採用

～ ニューノーマル時代を見据えたリモートでの導入スキームを適用 ～

日本ユニシスは、四国銀行に「SmileBranch（スマイルブランチ）^(注)」の提供を4月12日から開始します。

「SmileBranch」は、営業店窓口でタブレットを活用した対話型接客を行い、お客さまと行員を「笑顔」にするソリューションです。行員を事務から解放することでストレスをなくし、本業である金融サービス提供に専念できる働き方の改革を支援します。

四国銀行は、「SmileBranch」を活用しお客さまに寄り添い、家族のように接することを目指す「Just Like Family!な人財力」と「専門的なコンサルティング能力」でお客さまごとに異なるニーズを的確に対応し、他行・他業態と差別化できる「四銀スタイル」の確立を目指します。

四国銀行での導入では、豊富な実績やノウハウに基づき、リモートでの導入スキームの適用を実現しました。



【四国銀行の次世代営業店改革の3つのキーワード】

四国銀行は、お客さまに真っ先に相談され、お客さま本位のコンサルティングやサービスを提供することを目標に、以下のキーワードにて「SmileBranch」の導入を行います。

1. 健康経営と新たな働き方の実現

従業員のエンゲージメントを高める施策を実施し、従業員が健康で、やりがい・働きがいを持てる新しい働き方を実現します。

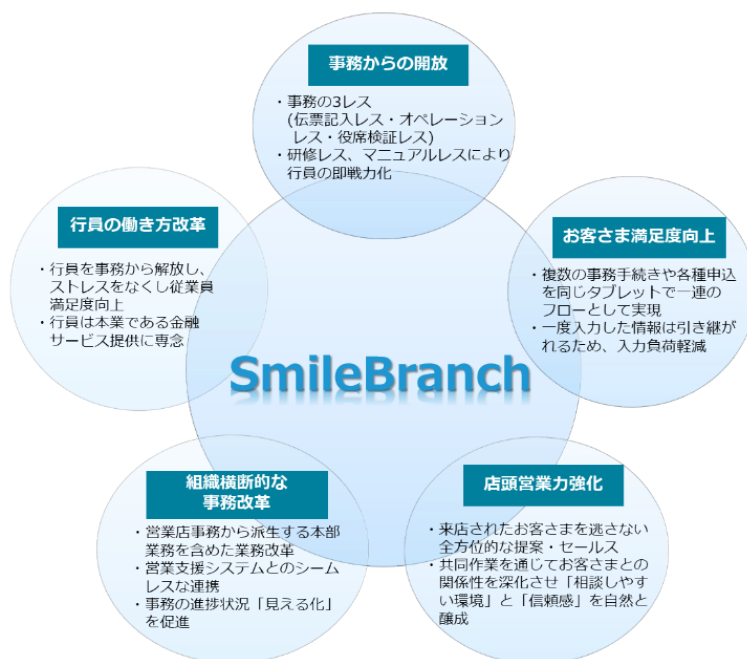
2. 営業店の業務改革

デジタル技術を活用し、店頭事務業務を見直しや効率化することで生産性向上を図り、働きやすい環境を実現します。銀行業務を変え、営業店がコンサルティングに集中できる態勢を構築するとともに、お客さまが喜ぶサービスを提供します。

3. コンサルティング機能の発揮

企業、個人、地域のコンサルティング機能を発揮することで、ニーズを的確に対応し課題に向き合い、お客さまに役立つことを目指します。

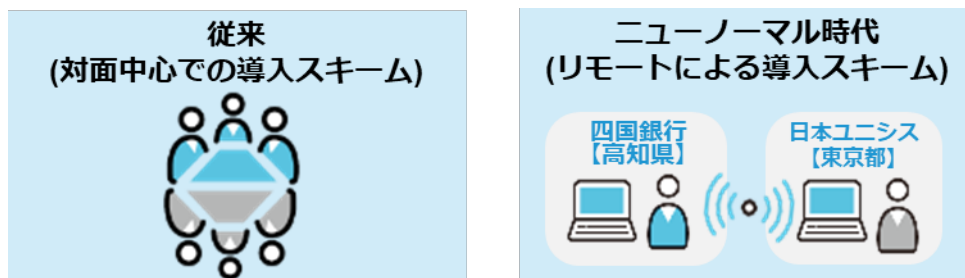
【導入効果】



「SmileBranch」は、タブレットを活用し、来店されたお客さまを逃さない提案やセールスを行うことができるソリューションです。対話をしながらタブレットを一緒に操作することで、お客さまとの関係性を深化させ、相談しやすい関係や信頼関係を築きます。行員とお客さまが一緒になって入力や確認をすることで、「事務からの解放」、「お客さま満足度向上」、「店頭営業力強化」、「組織横断的な事務改革」「行員の働き方改革」の効果が期待できます。

【今後の展開】

日本ユニシスは、今回の実績をもとに、今後ニューノーマル時代に合わせたソリューションの検討や企画を進めていきます。



以上

株式会社四国銀行（代表取締役頭取：山元文明氏）

<https://www.shikokubank.co.jp/>

高知県高知市に本店を置く地方銀行です。長期ビジョン「真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンク」の実現に向けた最終ステップとして本中期経営計画が策定し、2019年4月よりスタートしております。本計画では、戦略目標を4つ掲げ、人財力とコンサルティング能力を確立し、営業店業務と本店業務の改革を実施することを目指しています。

注：SmileBranch

お客さまの利便性を向上させ対話型接客を行うことで、お客さまと行員を「笑顔」にするサービスです。タブレットを活用した事務の効率化とお客さまとの対話や提案を行うことを実現し、お客さまが相談しやすい頼られる店舗づくりを支援します。

■関連リンク：

「笑顔があふれる銀行窓口 SmileBranch／スマイルブランチ」

<http://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/smilebranch/>

※SmileBranch は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の内容は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係者お問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/